

CGVIEW バージョン 1.3.0 への改良内容

1) ジオメトリカラーの一括指定

従来は変更する項目(形状や領域)が一つしか選択できなかったが以下のように改良した。

- ・ Shift キーを押しながら選択すると一つ前に選択した項目から次に選択した項目までの間をすべて選択できる。
- ・ CTRL キーを押しながらだと複数項目の選択ができる。

2) ジオメトリカラーデータの保持

従来は起動する毎や新しい軌跡データを読み込むたびに初期化していたが以下のように改良した。

- ・ CGVIEW を終了した時点での形状、領域、物質毎の色データを保存し、次に読み込む場合保持データが存在する項目数分対応させる。保持データが少ない場合は従来どおり初期値とする。

3) 拡大範囲の指定

従来はマウスでの拡大のみであったが範囲を指定しての拡大ができるように改良した。

- ・ Shift キーを押しながらマウスの左ボタンを押し、押下したままマウスを移動すると文字色と同じ色の枠が表示されるのでこの枠で拡大範囲を指定する。

CGVIEW バージョン 1.3.1 への改良内容

アプリケーション終了時の不具合を修正。これに伴い配列サイズを固定に変更。配列サイズオーバーが発生した場合には、cgview.ini 内の以下の項目を変更する。

[special]

geometry=100	形状の最大数
zone=200	領域の最大数
zone-data=50	各領域で定義する形状の最大数
material=50	物質の最大数
particle=1000	-1 で区切られる粒子の最大数
particle-length=200	各粒子の最大軌跡数(-1 から -1 の範囲の数)